N-35

HPC/SiO₂ ナノハイブリッドサスペンションの分散 – 凝集転移 Dispersion-Flocculation Transition in HPC/SiO₂ Nano Hybrid Suspension

 ○正木壮介¹, 鈴木晶太², 黄厦², 只野剛^{3, 4}, 星徹⁵, 萩原俊紀⁵, 矢野彰一郎⁶, 澤口孝志⁵
*Sosuke Masaki¹, Shota Suzuki², Xia Huang², Tsuyoshi Tadano^{3,4}, Toru Hoshi⁵, Toshiki Hagiwara⁵, Shoichiro Yano⁶ and Takashi Sawaguchi⁵

Abstract: Hydroxypropyl cellulose (HPC) is a water-soluble polymer having a number of hydroxypropyl groups. In the organic hybrid suspension of PMMA/SiO₂, it was found that entanglement formation of the polymer chain caused the flocculation of SiO₂. On the other hand, the aqueous hybrid suspension expects that adsorption interactions in which polymer chain and SiO₂ are strong causes the flocculation. In this study, we examined on the behavior of dispersion-flocculation transition of SiO₂ in the aqueous hybrid suspension of HPC/SiO₂.

1.緒言

わが研究室では、これまでにコロイダルナノシリカ(SiO₂)とポリメタクリル酸メチル(PMMA)の有機溶媒系ブレンドにおいて、ポリマー及びSiO₂ゾルの濃度がハイブリッドサスペンションのSiO₂の分散ー凝集転移現象及びハイブリッドフィルムの透明性に与える影響について研究を行ってきた.その結果、ポリマー濃度が高くなると、ある濃度で透過率が急激に減少し白濁する濃度C^{*}が存在すること及びC^{*}は分子量が高くなると低濃度側にシフトし、絡み合いを形成しない分子量以下になるとC^{*}が出現しないことが見出された.またC^{*}以下の濃度で調製したハイブリッドフィルムでは、SiO₂凝集が抑制され、PMMA中に良好に分散しPMMAの透明性を維持していることが明らかになった.これらの結果から、C^{*}がポリマー鎖間の絡み合い相互作用によって誘起される絡み合い凝集であることを提唱した.一方、わが研究室では対照的に水分散SiO₂ゾルと水溶性ポリマー間の強い吸着相互作用が期待される水系サスペンションにおけるSiO₂の凝集機構の解明に着手した.

本研究では、水溶性ポリマーであるヒドロキシプロピルセルロース(HPC)を用いて HPC/SiO₂の水系ハイブリッド サスペンションにおける SiO₂の分散 – 凝集転移挙動に与える相互作用について検討した.

2. 実験

使用した SiO₂ ゾルは扶桑化学工業(株) 製の PL-1SL で, ゾル - ゲル法で作製され平均一次粒径 12.3nm,表面未修飾ま ゆ型で,水に 20.1wt%分散している. HPC は日本曹達(株) 製であり数平均分子量(Mn)が 0.4×10⁵ である HPC-SSL と HPC-SL (Mn=1.0×10⁵) を使用した.

有機溶媒系と同様に、所定濃度のSiO₂/水サスペンションに ポリマー粉末を少量ずつ添加して得られるハイブリッドサス ペンションのUV - vis スペクトルにおける透過率(400nm) を測定し、分散ー凝集転移挙動を検討した.またウベローデ 粘度計(恒温槽温度;25℃)にて、HPC 水溶液の相対粘度を 測定し、ポリマー間の絡み合いの影響について検討した.さ らに表面張力測定からHPCとSiO₂との相互作用について検討 した.



^{1:}日大理工·学部·応化 College of Science and Technology, Nihon Univ. 2:日大理工·大学院生·応化 Graduate School of Science and Technology, Nihon Univ. 3: 日大理工·客員研究員·応化 Institute College of Science and Technology, Nihon University. 4:Nikka Seiko Co.,Ltd..5:日大理工·教員·応化 College of Science and Technology, Nihon University. 6:日大理工·研究員·応化 College of Science and Technology, Nihon University.

3.結果と考察

Fig.1 に HPC-SL/SiO₂サスペンションにおけるポリマー濃度 に対する透過率の変化を示す. HPC-SL 単体ではポリマー濃度 の増加に伴って透過率が減少した. これは着色 HPC 試料によ ると考えられる. HPC-SL 単体に対して初期 SiO₂濃度 12wt% までは HPC-SL の添加と同時に透過率が直ちに減少するもの の,ある HPC 濃度以上では透過率の減少は緩やかになった. しかしながら,15 及び 20.1wt%における透過率はポリマーの 添加と同時に急激に減少したが,サスペンションの粘度が増 大し測定不能となった. Fig.2 に分子量が HPC-SL よりも小さ い HPC-SSL/SiO₂サスペンションにおけるポリマー濃度の変 化に対する透過率の変化を示す. 結果は HPC-SL (Fig.1) とほ ぼ同様な挙動を示した. これらの結果は,有機溶媒系ハイブ リッドサスペンションの分散ー凝集転移挙動と異なることを 示唆している.

HPC-SL 水溶液の相対粘度に対するポリマー濃度の影響を Fig.3 に示す.HPC 濃度の増加により相対粘度の急激な増加が 確認された.HPC 鎖の接触・絡み合いは 0.25~1.50wt%で起こ ると考えられ、この濃度付近で, SiO₂ サスペンション中の SiO₂ の凝集が進行すると推測される.しかし、Fig.1 及び 2 に示さ れるように、HPC / SiO₂ ハイブリッドサスペンションにおい ては、この濃度付近で明瞭な C*は現れず、ポリマーの添加と 同時に透過率が減少することから、SiO₂ の分散凝集転移は高 分子鎖の絡み合いの影響だけではなく HPC と SiO₂の間の吸着 相互作用が大きく影響していると考えられる.

4.結言

以上のように、水系ハイブリッドサスペンションにおける 透過率の減少挙動は、ポリマー鎖同士の絡み合いによる相互 作用だけでは説明できないと結論される.

HPC 添加と同時に透過率が急激に減少することから, **HPC** 鎖と SiO₂間の吸着相互作用が強く影響を与えていると考えら れる.

表面張力測定によるHPC鎖とSiO2間の吸着相互作用に関する データは当日示す.

4. 参考文献

澤口孝志,高分子,56 (a),HT07062 (2007);Polyfile,3,
25-29 (2008);表面,48 (2),1-9 (2010);表面,48 (3),1-7 (2010);高分子学会予稿集,61 (2),4689-4690 (2012).



Fig.1 Polymer-concentration dependence of transmittance at 400nm in UV-vis spectra of HPC SL ($Mn=1.0\times10^5$) aqueous solution and HPC SL/SiO₂ suspension.



Fig.2 Polymer-concentration dependence of transmittance at 400nm in UV-vis spectra of HPC SSL ($Mn=0.4\times10^5$) aqueous solution and HPC SSL/SiO₂ suspension.



Fig.3 Polymer concentration dependence of relative viscosity of HPC-SL ($Mn=1.0x10^5$) aqueous solution.